

仮番号「書13—696」

先頃はかけちがつてお目にかゝれず、態々  
お越し下さいましたのに不在して大に  
失礼いたしました、甚だ御厄介の

件ですがもし御都合が何とか御繰合せ  
願へましたら是非御出向下さいませ

やうお願申しますまだ相当時日に余裕の  
あることですからどのみちいそいで御決定  
下さらずとも結構と存じます、いづれお  
目にかかつて万々申述べます 拜具、

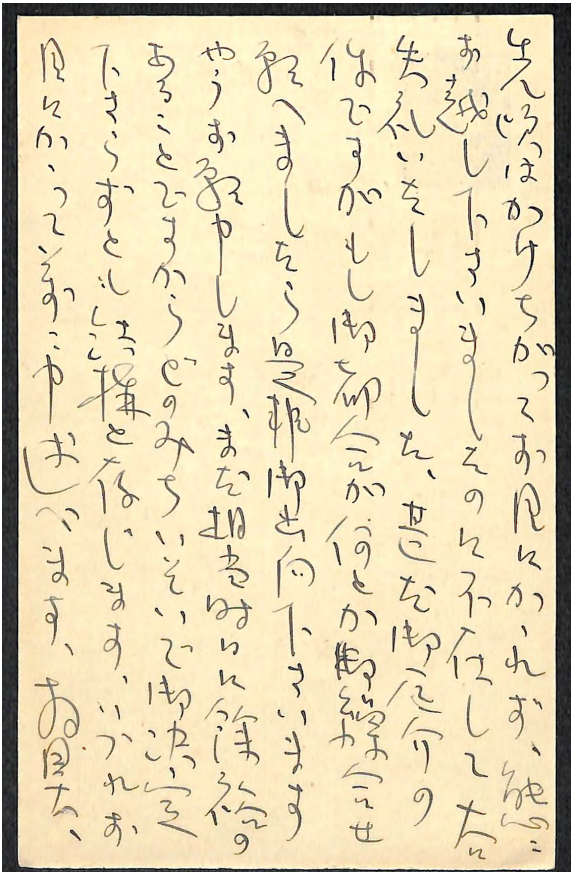
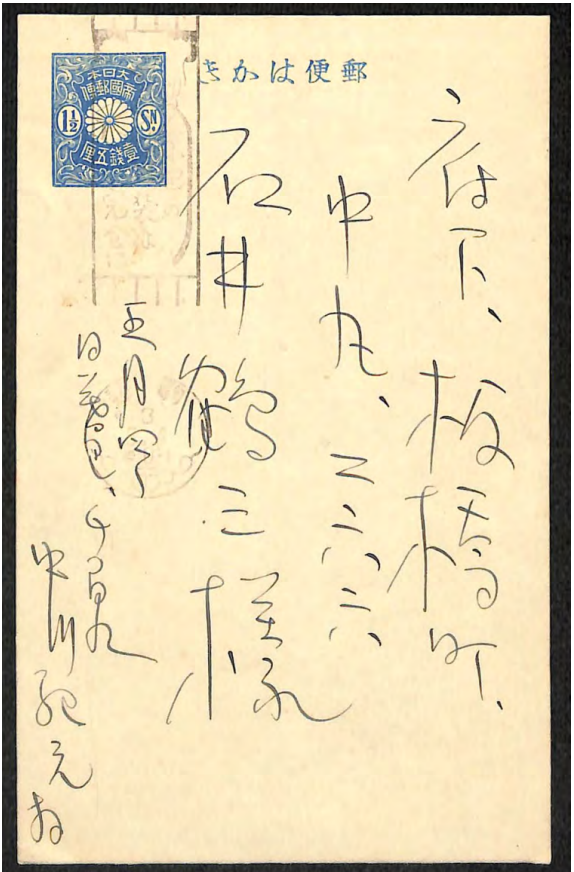
〔受信者〕 府下板橋町／中丸二六六／石井鶴三様

〔発信者〕 日暮里千駄木／中川紀元

〔日付け〕 五月四日

〔消印〕 駒□／3・5・4／□□—□

葉書



仮番号「書10—225」

拝復、

お葉書下されありがたく拝  
見いたしました、

講習生多数にて御骨折一方  
ならざること、お察し申上げ  
ます、いろいろ御気になは  
ぬことがあらうと心配して居り  
ます、何卒悪しからず御容赦  
下さいまして然るべく御指導た  
まはり度く御依頼申し上げます、

拝具、

六月二十日

中川紀元

石井鶴三様

玉案下

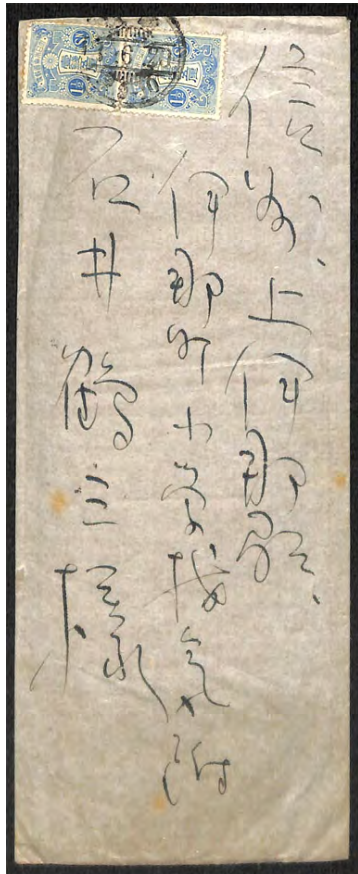
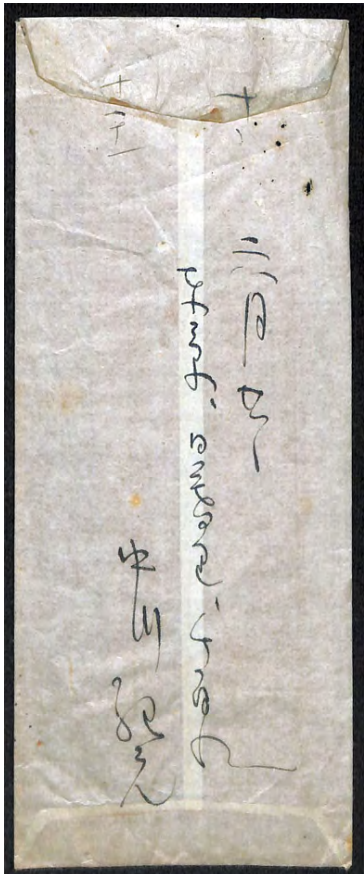
〔受信者〕 信州上伊那郡／伊那町小学校気附／石井鶴三様

〔発信者〕 東京日暮里千駄木／中川紀元

〔日付け〕 六月二十日

〔消印〕 □□／3・6・20／□9—10

便箋



おぼや、  
 おもた書下しおぼやおぼや  
 見えしよしよし  
 海老生多敷るし御骨折る  
 くらがること、おぼやし中し  
 ます、いろく御くらぬは  
 めことかあらうと心記してたり  
 ます、何れ十何れしらすおぼや

下しおぼやししこおぼやし  
 おぼやしし御骨折る  
 おぼやし  
 石井 鶴三  
 石井 鶴三  
 石井 鶴三